

親子とすれ違う時（四輪車編）



あなたは片側一車線の見通しの良い道路を直進しています。
歩道を歩いている子どもが突然走り出しました。

安全に通過するには、
どのようなことを予
測する必要がありますか？

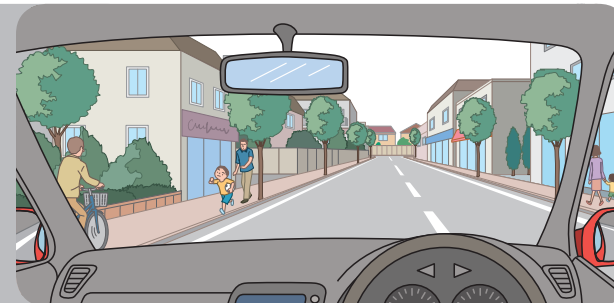
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

親子とすれ違う時（四輪車編）

あなたは片側一車線の見通しの良い道路を直進しています。
歩道を歩いている子どもが突然走り出しました。

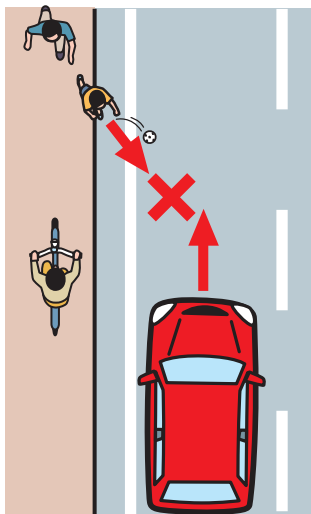
安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？



答え

このような状況ではこんな危険があります

- 左側の子どもは後ろの保護者と手をつながず、ボールを持って走っています。もし、ボールを落として車道側に転がったら、ボールを追いかけて車道に飛び出してくるかもしれません。また、反対側の歩道にいる友だちを発見して急に道路を横断するかもしれません。さらに、自転車が子どもを避けようと歩道から車道に出て、あなたのクルマの目の前に飛び出してくるケースも考えられます。



ここがポイント

予想のつかない子どもの動きに注意し、速度を落とす

- 子どもは何か夢中になると、安全確認をせずに車道に飛び出してしまうなど、大人が予想できない行動をとることがあります。ドライバー・ライダーはこうした行動特性をふまえ、子どもの近くを通る時は速度を落とし、子どもの動きから目を離さないようにしてください。特に一緒にいる保護者と手をつないでいなかったり、反対側などに子どもが興味を引くことがあったり、子ども同士でふざけながら歩いたりするケースでは十分な注意が必要です。
- 保護者は小さい子どもと歩く時は必ず手をつなぎ、車道側を保護者が歩くようにしてください。また、幼児（6歳未満）をひとり歩きさせてはいけません。幼児が道路を歩く時は、保護者または保護者に代わる監護者が必ず付き添うことが道路交通法で定められています。

【使用上の注意】

● 営利目的での利用はおやめください ● 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ● その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736